

よこはまユースレター

寄附金特集

よこはまユースでは、皆さまからの寄附金を活用して、青少年の体験活動の充実に努めています。今年も野島青少年研修センターの海に親しむ体験活動プログラムをはじめ、本紙で紹介する様々な青少年育成事業を実施しました。

私たちはこれからも皆さまと共に、青少年の健やかな成長のための事業に取り組んでいきます。

青少年育成寄附金募集事業

第54回 爆笑！濱っ子寄席

(11月14日、関内ホール)

昨年を越える737人のお客様にご来場いただき、盛会のうちに終了しました。収益は青少年育成のために活用させていただきます。ありがとうございました。

- ◆ 事業収益 / 300,000円(見込み)
- ◆ 募金箱 / 42,467円



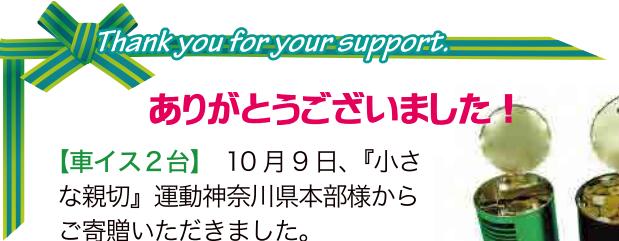
平成27年 新春のつどいご案内

日頃から法人を支えてくださっている賛助会員・関係者の皆さまと親睦を深める機会に。

- ◆ 日 時 / 平成27年1月28日(水) 18時30分から
- ◆ 会 場 / ホテル横浜ガーデン3階『ミモザ』

お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください！

※詳しくは別途、関係者の皆さまにご案内申し上げます。

Thank you for your support.

ありがとうございました！

【車イス2台】10月9日、『小さな親切』運動神奈川県本部様からご寄贈いただきました。



賛助会費・寄附金

平成26年8月1日から平成26年10月31日まで

◆ ユース賛助会費	37件	127,000円
◆ 特定寄附金	合計	31件 31,000円
【内訳】 わくわく・生活体験キャンプ		10,000円
野島クリスマスキャンプ		13,000円
ハートフルスペース		8,000円
◆ 一般寄附金	4件	29,578円

寄附金協力者（日付順、敬称略）

【団体名】 株式会社チアーズ / 横浜市フォークダンス協会 / 横浜野球連盟 / 公益財団法人横浜市体育協会 / 公益社団法人横浜中法人会 / 中央墓撰会 / 第一カード株式会社 / JX-ENEOS 野球部OB会事務局 / 神奈川区青少年指導員協議会 / 旭区子ども会育成連絡協議会 / 神奈川県糸井螺協同組合 / 横浜市子ども会連絡協議会 / 鶴見区子ども育成連絡協議会 / 西区子ども会育成連絡協議会 / 西区ジュニアリーダースクラブ / コーラ・アンダンテ / 横浜市退職小学校長会

【個人名】 合田 加奈子 / 高橋 宣子 / 中村 一雄 / 関根 利和 / 関根 ユキエ / 青柳 八重子 / 大向 哲夫 / 灌波 磯理江 / 中谷 忠宏 / 佐藤 雅亮 / 稲垣 公明 / 美藤 愛 / 船田 英一 / 泉妻 輝夫 / 伊藤 敦子 / 加藤 信郎 / 田島 一郎 / 川本 正秀 / 俵 節子 / 安田 幸世 / 福田 稔 / 岩澤 利雄 / 松本 英一 / 笠原 光子 / 梶谷 安代 / 真鍋 明文 / 渡辺 洋吉 / 今井 大 / 吉田 洋市 / 関野 修一 / 高田 直枝 / 鹿島 緑 / 芦立 正子 / 中村 輝次 / 長谷川 雅子 / 大塚 善一朗 / 横関 桂子 / 中山 里美 / 工藤 春治 / 早川 雅子 / 三井 巧 / 鈴木 広顕 / 五木田 涼子 / 比企野 和佳 / 松本 小寿恵 / 石塚 昇 / 岳野 万里夫 / 出口 晴基

発行／公益財団法人よこはまユース
tel.045-662-3716 fax.045-664-6254
URL <http://yokohama-youth.jp/>
Eメール soumu@yokohama-youth.jp

横浜市野島青少年研修センター

野島の海でカヌーにチャレンジ !!

寄附金で購入したレクリエーションカヌーは、宿泊体験学習で利用する小中学生をはじめ1,000人以上の子どもたちの海での自然体験で大活躍しています。



「初めてだったけどうまく漕げたよ！」「近くで魚が跳ねるのを見て楽しかった！」など子どもたちの楽しい声をたくさん聞くことができました。これから多くの子どもたちに体験機会を提供していきます。ぜひ、野島青少年研修センターでカヌー体験を !!

特定寄附金事業

野島クリスマスキャンプ

「ふれあいの会」(11月24日)

野島青少年研修センターでは毎年、横浜市立小・中学校個別支援級に通う子どもと保護者が一緒に1泊2日のキャンプを実施しています。今年で19回目を迎えます。12月6日～7日の本キャンプに先立ち、11月24日に子どもとボランティアとの顔合わせ「ふれあいの会」を実施しました。お互いに緊張していましたが、ゲームを通じて和やかな雰囲気になり、保護者同士もカレー作りをしながら交流が深まりました。

「また会おうね、楽しみにしているね！」本キャンプに向けて準備ができました！



寄附金控除が受けられます

よこはまユースへの寄附金（ユース賛助会費や事業指定寄附金。*募金箱は対象外）は、税法上の優遇措置が受けられます。

所得税の還付申告の際に、1月下旬頃にお送りする「寄附金受領証明書」を添付し、管轄の税務署へご提出ください。



○ 横浜市青少年交流センター

スタッフと青少年をつなぐ「ロビーワーク」

一日平均約430人の利用がある青少年交流センターでは、ロビーで過ごす青少年にスタッフが積極的に声をかけることで信頼関係を築き、自然なコミュニケーションをとおして青少年の心に寄り添い、一緒に喜んだり、支えたり、後押しができる居場所づくりに日々取り組んでいます。

そんな関わりの中で思わぬ喜びに出会うことがあります。先日、小学生の頃に来ていた子が何年かぶりに訪れ、様子を見ながら近づいてくる姿に職員が気づいて声をかけると、恥ずかしそうに笑顔を浮かべました。あっという間に当時に戻って、近況を語り合いました。長きにわたって青少年と交流ができること！学校のような「卒業」のない場所を保つことが青少年交流センターが青少年のためにできる大切な役割の一つです。



▲スタッフの手づくり料理を食べながら、話に花が咲く青少年とスタッフ。

活動レポート

○ よこはまユース（本部事業）

「どんぐりプロジェクト」

(10月2日)

道志村と横浜市は水道をとおして深いつながりがあり、道志小児童の横浜見学、万騎が原小児童との交流事業を毎年実施しています。

今年は川井浄水場のろ過設備が一新されて、空いた敷地にみんなが憩える森を作ろうという「どんぐりプロジェクト」が始まり、どんぐりの贈呈式がありました。これから数年かけて苗に育て植樹します。木も子どもたちも、大きく育ってくれますように！



○ 横浜市青少年育成センター

研修報告「実践から学ぶ“青少年の居場所”とは」

(9月16日～10月28日)

「青少年の“居場所”について実践と研究の視点から居場所のあり方について考える全5回の講座が終了し、延べ109人が参加しました。回を重ねるごとに意見交換が活発になり、終わった後も参加者同士が話し合う姿が見られました。

施設を利用していた若者の話を聞く回では「スタッフが顔と名前を覚えて、声をかけてくれるだけで嬉しかった」と当時を振り返る言葉に、参加者から「自分たちの取り組みに少し自信が持てた」という感想が寄せられました。

●編集後記● 上半期の事業評価が終わりました。事業評価のヒアリングは、各部門や担当の頑張り・成長が実感できるうれしい時間です。今年は各地で深刻な自然災害に襲われました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。来年はひつじ年にふさわしい穏やかな年になりますように！(さみ)

地域活動を応援！

岡村中学校 「子どもの幸せを実現する会」

7年前に地域全体で子どもたちの成長を見守ろうと発足した「子どもの幸せを実現する会」では、朝の挨拶運動やパトロールなど様々な活動を行っており、関わる大人の数は年々増え続けています。昨年度は内閣府のチャイルドユースサポート章を受賞しました。

事務局の谷知恵美子さんは「活動を続けるうちに子どもはもちろん学校の先生たちと信頼関係を築けたことが嬉しかった。心がけていることは、地域の人たちに気持ち良く参加してもらうことです」と話してくれました。



○ 放課後キッズクラブ

「仲町台ハロウィンウォーク2014」に参加したよ!!

—折本小放課後キッズクラブ—

(10月25日)

地域のハロウィンイベントに初参加。キッズルームで作った仮面と家から持ち寄った衣装に着替えたら準備完了。

中学生ボランティアにフェイスペイントをしてもらい、総勢1,500人に交じって、仲町台駅周辺を仮装パレード。その後は商店街のウォークマップを持ち

「トリック・オア・トリート」の合言葉でお菓子をゲット！仲町台商業振興会、仲町台中央町内会の皆さん、ありがとうございました。

